

1 章 2 節 振り返る [ワークシート 1-2-7]

2. 協同学習に対する振り返りをしましょう。。

- (1) 今日のグループ活動の中で、協同学習が成立するための 5 つの基本原則のいずれかが成立していた場面、成立していなかった場면을 1 つずつあげましょう。またそれぞれの場面について、どの基本原則が成立していたか、どの基本原則が成立していなかったかを、理由とともに説明しましょう。そして、下のループリックに従って評価しましょう。

[協同学習が成立・成立しなかった場面の具体例]

評価基準 評価規準	A:十分満足	B:おおむね満足	C:努力を要する
協同学習が成立した場面について、成立の条件に対応させながら具体的に説明できる。	以下が全て満たされている。 <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面が挙げられている。 対応する原則が理由とともに説明されている。 場面と原則の対応が適切である。 	以下の内 2 つが満たされている。 <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面が挙げられている。 対応する原則が理由とともに説明されている。 場面と原則の対応が適切である。 	以下の内 1 つが満たされている。 <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面が挙げられている。 対応する原則が理由とともに説明されている。 場面と原則の対応が適切である。
協同学習が成立しなかった場面について、成立の条件に対応させながら具体的に説明できる。	以下が全て満たされている。 <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面が挙げられている。 対応する原則が理由とともに説明されている。 場面と原則の対応が適切である。 	以下の内 2 つが満たされている。 <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面が挙げられている。 対応する原則が理由とともに説明されている。 場面と原則の対応が適切である。 	以下の内 1 つが満たされている。 <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面が挙げられている。 対応する原則が理由とともに説明されている。 場面と原則の対応が適切である。